

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期課題候補

# 「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」

## 公開シンポジウム

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期の課題候補「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」では、2023年度からの開始に向け、研究開発計画の検討を進めて参りました。その成果を周知し、本課題候補の認知や理解を促進するための公開シンポジウム(共催:内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構)を、沖縄科学技術大学院大学にて開催いたします。

量子技術はその多くが未成熟な段階でありながら、創薬・医療や材料、金融、エネルギーなどの幅広い領域における利活用、実用化が期待されているエマージング技術です。

令和4年4月に策定の「量子未来社会ビジョン」では、量子技術によるコンピューティング、センシング、通信性能の飛躍的向上により、経済・環境・社会が調和する未来社会像を実現することが示されました。

こうした背景の下、本シンポジウムでは、量子技術が目指す社会像や本課題候補の概要について、SIPを主導する内閣府およびプログラムディレクター候補からご紹介いたします。また、量子技術を構成する主要な研究開発分野や、量子技術とともに社会課題に対応する分野、研究開発成果の社会実装を進める基盤となるスタートアップや人材育成について、関係する研究者等からご発表いただくと共に、量子技術の社会実装に向けて求められることについての議論をパネルディスカッション形式で行います。

開催日

2023年 3月 23日(木) 15:00~17:30

実施方法

現地参加・オンラインのハイブリッド形式

現地会場

沖縄科学技術大学院大学

シドニー・ブレナー レクチャーシアター(OISTメインキャンパス)

〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1 <https://www.oist.jp/ja/campus/access-map>

※那覇空港からOISTまでの所要時間バスによって異なりますが、約1時間半から2時間半を要します。

※那覇空港からOISTメインキャンパスへの直行バスはございませんので、最寄りの停留所で降車していただき、徒歩、またはタクシーをご利用ください。

※駐車場を確保しておりませんので、自動車でのご来場はお控えください。

定員

現地参加:最大50名程度

オンライン参加:200名程度

参加費

シンポジウム参加費:無料

※現地会場でご参加の方は、現地までの移動や宿泊はご自身で手配、費用をご負担いただきます。

アンケート

下記URL、またはQRコードより募集サイトにアクセスし、お申込ください。

<https://www.mri.co.jp/seminar/20230323.html>



量子未来社会ビジョンの詳細については以下をご覧ください。

<https://www8.cao.go.jp/cstp/ryoshigijutsu/ryoshigijutsu.html>

SIP第3期の課題候補「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」については以下をご覧ください。

<https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>

共催:内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

## 開催挨拶

15:00 松尾 泰樹 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局長

15:05 「量子未来社会ビジョン」で描く社会像と量子技術の課題について  
増田 幸一郎 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 政策企画調査官

## 基調講演

15:25 SIP第3期課題候補  
「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」の概要について  
寒川 哲臣  
プログラムディレクター(PD)候補 /  
日本電信電話株式会社 先端技術総合研究所 常務理事 基礎・先端研究プリンシパル

## 個別領域の課題と展望

15:55 量子コンピュータが拓く未来と今後の展望  
～量子・AI融合技術ビジネス開発グローバル拠点～  
川畑 史郎  
国立研究開発法人産業技術総合研究所  
新原理コンピューティング研究センター 副研究センター長  
文科省Q-LEAP(キューリープ) 量子情報処理領域 サブプログラムディレクタ

16:05 暗号関連技術開発の中長期的方向性  
花岡 悟一郎  
国立研究開発法人産業技術総合研究所  
サイバーフィジカルセキュリティ研究センター首席研究員

16:15 これからの大学の役割とOIST量子技術センターの取組み  
根本 香絵  
沖縄科学技術大学院大学 量子技術センター長  
量子情報科学・技術ユニット 教授

16:25 求められる量子人材とは～その人材像と育成方策～  
岡田 俊輔  
一般社団法人 量子技術による新産業創出協議(Q-STAR)実行委員長  
株式会社東芝 執行役上席常務 最高デジタル責任者  
東芝デジタルソリューションズ株式会社 取締役社長

## パネルディスカッション

16:40 量子技術の社会実装に向けて何が求められるのか  
モデレーター：寒川 哲臣 PD候補  
パネリスト：「個別領域の課題と展望」登壇者

## 閉会挨拶

17:25 茅野 政道 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 理事

※ 各講演等の内容は変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

### 3月24日(金)沖縄科学技術大学院大学見学ツアーについて

本シンポジウム翌日(3月24日)に、沖縄科学技術大学院大学見学ツアーを開催いたします。  
※詳細は募集サイト(<https://www.mri.co.jp/seminar/20230323.html>)をご確認ください。

お問合せ/事務局

株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号 シンポジウム事務局

担当:小野、磯貝、近藤、山野

E-mail:[quantum-sip-symp@ml.mri.co.jp](mailto:quantum-sip-symp@ml.mri.co.jp)